

第2回ロジニケーション・ジャパンカップ開催のお知らせ

初冬の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、論理的コミュニケーション力の重要性を社会に広めるNPO法人「ロジニケーション・ジャパン」（理事長：神尾雄一郎・開成中高弁論部監督）が主催するディベート大会、「第2回ロジニケーション・ジャパンカップ」を慶應義塾高校にて開催するにあたり、高校生の参加者の募集をさせていただきたく存じます。

本大会は、「大会当日に論題発表」「主催者が用意した即席チーム」「一般聴取の方が理解しやすい独自ルール」という三つの大きな特徴を有しています。ディベートに勤しむ高校生が交流を深めつつ、聴衆の方々にもディベートの奥深さに触れていただき、ディベートの持つ高い教育効果を多くの方に認識していただく契機としたいと願っております。

下記要項を御確認いただき、参加していただける方は、必要事項を記入したメールをinfo@loginication-japan.comにお送りいただきたく存じます。締め切りは、2019年12月14日（土）までとさせていただきます。多くの皆様に御参加いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

[申し込み必要事項]

- ① 学校名
- ② 参加者名・フリガナ・学年・ディベート歴・主な担当ポジション
- ③ 引率者名・フリガナ（不在の場合は空欄）
- ④ 代表者連絡先電話番号
- ⑤ 代表者連絡先メールアドレス

[主催] NPO法人ロジニケーション・ジャパン

[開催日] 2019年12月21日（土）

[会場] 慶應義塾高校（東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅下車徒歩5分）

[参加費] 無料

[タイムスケジュール]

- 08:30～08:50 受付
- 09:00～09:25 開会式・論題発表・チーム分け発表
- 09:30～11:30 立論及び反駁作成・作戦会議／引率者向け意見交換会
- 11:30～12:00 昼食
- 12:15～13:00 第1試合実施
- 13:15～14:00 第2試合実施
- 14:15～15:00 第3試合実施
- 15:45～16:20 決勝戦
- 16:20～16:50 調査用紙記入
- 17:00～17:45 決勝戦判定講評・閉会式
- 18:00 解散

[注意事項（一部変更の可能性あり）]

・大会は個人参加とし、ディベート甲子園のルールを理解し、ディベート甲子園のルールにおける試合を経験したことのある高校生であれば誰でも参加可能とする。ただし、申し込みは学校単位で行い、各校6名を上限とする。最低1名の引率が望ましいが、必須条件とはしない。全体の参加上限を24名とし、受け付けは先着順とする。

・優勝チームには選手全員に優勝カップを、参加者全員に参加記念品を贈呈する。また、決勝戦において最も優れたディベーターと判断された1名をベストディベーターとして表彰する。

・チームは、同じ学校の選手が同じチームにならないよう配慮した形で事前に決定する。6チーム編成を基本とするが、申し込み人数によってはチーム数を減らす措置をとる。

・論題は当日発表し、午前にチームで試合の準備を行う。

・引率は午前に審判や他校教員との意見交換会、及びディベートのルール講習会に出席する。午後は副審としての参加をお願いする。

・参加者には筆記用具、昼食・飲料の御持参をお願いする。

・保護者や観客の皆様にも御観覧いただけるスペースを確保するが、引率者以外の会場立ち入りは原則として11時45分以降とする。当日はディベートのルールをまとめたリーフレットを配布する。

・選手名は大会会場内で読み上げられる他、その活躍がwebを通して広報される場合がある。また、主催者や、主催者の認めるその他団体により、大会会場内の動画または写真が中継、録画、インターネットでの動画配信、その他の媒体で紹介されることがある。

・試合は、授業での導入を意識した短縮フォーマットで行うこととする。

| | | | |
|---------|------|------|----|
| 肯定側立論 | 3分 | 準備時間 | 1分 |
| 否定側質疑 | 1.5分 | 準備時間 | 1分 |
| 否定側立論 | 3分 | 準備時間 | 1分 |
| 肯定側質疑 | 1.5分 | 準備時間 | 1分 |
| 否定側第1反駁 | 2分 | 準備時間 | 1分 |
| 肯定側第1反駁 | 2分 | 準備時間 | 1分 |
| 否定側第2反駁 | 2分 | 準備時間 | 1分 |
| 肯定側第2反駁 | 2分 | | |
| 計 | 24分 | | |

・大会は3チームずつの2リーグによる総当たりとし、肯定側と否定側の1試合ずつ各チーム2試合の結果で予選順位を決定する。なお、別のリーグとの交流戦も1試合行い、予選リーグにおける順位決定の参考とする。

・否定側は現状維持の立場とし、肯定側は付帯事項で定められた以外のプランを追加することを禁止する。

・試合中の資料は、立論及び第一反駁でそれぞれ1点の使用を許可する。なお、引用中断という形で一つの資料を分割して使用することは認めない。使用した資料は、試合終了後に引用の適切性や信憑性の高さを審判が直接確認する。

・立論は1200字程度を目安とし、反駁も立論程度のスピードを意識して行うこととする。滑舌がよいスピーチであったとしても、聞き取れる人間がかなり限定されるようなスピードのスピーチは、コミュニケーション点で減点を行う。

・ディベートの専門用語の使用について、以下の制限を行う。違反した場合は、コミュニケーション点で減点を行う。

<許可されるもの>

メリット・デメリット・内因性・解決性・重要性・固有性・発生過程・深刻性・ラベル・論題・プラン・定義・観察・反駁・再反駁・遅すぎる反駁・新しい議論・フローシート（フロー）・肯定側・否定側・投票・証拠資料（資料・エビデンス [エビは不可]）・論題充当性・審判（ジャッジ）・主張・ディベーター

<禁止されるもの>

ソルベンシー・インパクト・ユニークネス（ユニーク）・オブザベーション・アタック・ブロック・ターンアラウンド（ターン）・ニューアーギュメント（ニュー）・アフーマティブサイド（アフア）・ネガティブサイド（ネガ）・1AR・1NR・2AR・2NR・リンク・ドロップ・ボート・イシュー・サイド・ケース・ファクト・クレーム・リーズニング・オーソリティ・オーディエンス・トピカルティティー・フィアット・クリティーク・ディストーション・フィロソフィー・プレパレーション（プレパ）

・ある事柄が広く一般的に知られているものであるとして例示・主張された場合は、審判はその内容に加えてそれが広く一般的に知られているものであるかどうかを含めて議論を評価する。

・審判は判定結果及び理由を判定講評シートに記入した上で講評する。判定講評シートは閉会式の際に配布する。

・その他のルールは全国中学・高校ディベート選手権ルールとディベート甲子園ガイドラインを基本とする。

・決勝戦終了後、今大会のルールについての調査用紙に回答していただくこととする。